

＜ 国語 ＞科 学習シラバス

科 目	現代の国語	学年・類型	1 年生	単位数	2 単位	教科書	現代の国語(数研出版)
学習の到達目標		国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度		
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。		
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント類 ・小テスト ・定期考査 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容や態度 ・小テスト ・定期考査 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・課題への取り組み状況 ・ノート、プリント類 		
学期	月	単元名・小単元名	学習の指導内容			評価の観点	
			A	B	C		
1 学 期	4	論理ということ ○対比の構造 水の東西	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 ・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 	○	○		
	5	「攻撃」と「共存」 ○一般論と主張 「わらしべ長者」の経済学	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとする。 	○	○		○
	6	○一般論と主張 「わらしべ長者」の経済学 ポスト・ブライバシー	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとする。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。 	○	○		○
	7	○実用の文章 根拠の妥当性を説明する	<ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方を理解する。 ・筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとする。 	○	○		
2 学 期	8・9	○論理とレトリック コインは円形か ○視野を広げる 科学コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深める。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとする。 	○	○		○
	10	○具体と抽象 人と自然の共生とはどういうことか	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 ・目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 	○	○		
	11	ものとことば ○比較する 絵の前に思いをめぐらす	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとする。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。 ・異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめる。 	○	○		○
	12	○実用の文章 資料を分析して考えをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫する。 	○	○		
			○視野を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめる。 	○	○	
3 学 期	1	命は誰のものなのか ○思考を深める 時間と自由の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解する。 ・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表する。 	○	○		○
	2	時を編む人間 ○表現の実践 ・言語技術の実践 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・筆者の考えを粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめる。 	○	○		
	3		<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。 	○	○		○
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の本文の音読をする。内容が理解できるまで繰り返し読む。 ・ノートやプリントは確実に仕上げる。自宅で予習と復習をし、分からない箇所を質問する。 ・読む能力を高め、知識を身に付けるための努力をする。 					